

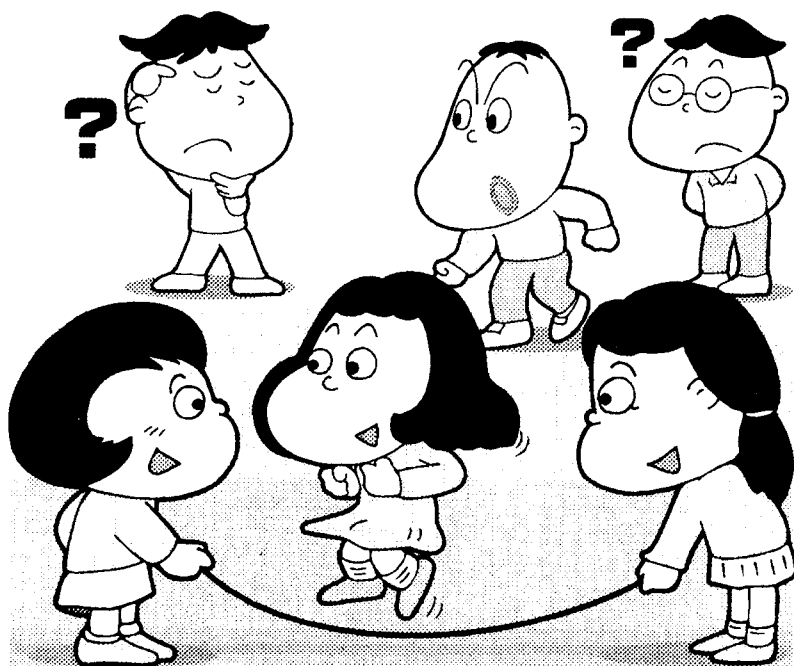
あそびのレシピ

みんなが難問にチャレンジ

入学試験

「失敗って、どんなこと」と子どもたちが尋ねると「成功のもと」と答えることが多いうようです。しかし、私の答えは「途中で止めること」で

「失敗とは、単にできないことではなく、今回やったやり方の問題があつて、うまくできなかっただけのことだと思ひます。」
大切なのは、ただ頑張るのではなく、どこに問題があるのか、どうすれば改善できるのか、を考えて、同じミスを繰り返さないことです。夢を支えてくれる仲間がいればやる気も出るし、きつといつか成功するはずですよ。



【人数】15-25人

【場所】縄跳びが出来る場所

【道具】大縄跳びの縄

【遊び方】①リーダーを2人選ぶ。地面にラインを引き、リーダー2人はライン上に立って大縄跳びを回す。

②メンバーはラインの反対側に並ぶ。

③リーダーは次のように説明をする。「入試問題の発表です。みんなで問題を解いて、全員で進学してください。問題は『1・2・3の20』で縄を跳ぶこと。間違った跳び方をすると大縄は止まります。準備が出来たら言ってください。大縄を回します」

④メンバーは『1・2・3の20』という問題の答えは何か、協議。仮説を立てたらみんなで跳び、リーダーが決めた答えと合ったかどうか試みる。

④リーダーがあらかじめ内々に決める答えは、たとえば、「1回目は1人で、2回目は2人で、3回目は3人でそれぞれ1回ずつ跳び、それを20回繰り返す」など。

⑥メンバーは休憩と作戦タイムをはさみながら、リーダーの答えに合うまで跳び続ける。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092(882)0363